

完了報告書（平成 23 年度）

提出者 櫻田涼子

提出年月日 2012 年 3 月 27 日

【プロジェクト名】

和文 理想の家族、現実の関係：再編されるマレーシア華人社会の親族関係

英文 Relationships Between the Ideal and the Real: Kinship of Chinese Malaysian Reconstructed

【メンバー構成】

研究代表者 櫻田涼子

幹事 同上

メンバー

【ねらいと目的】（600 字程度）

これまでの研究では、マレーシア華人社会の子育て実践において父系理念という伝統的価値観が厳格に適用されるわけではないことを指摘した。しかし、このような現象形態としての親族関係を明らかにする視点のみではマレーシア華人社会の系譜理念の変遷を議論することは困難である。現実がどのように現れるのかを示す事例を積み重ね、彼らが理念化する理想的規範の実際を突き合わせた総体的研究が実施されて初めてマレーシア華人社会の親族関係の再編の議論は可能となる。本研究では、独立後政府主導でもたらされた近代的な社会空間という公共圏と、マレーシア華人社会の伝統的価値観や系譜理念が維持される親密圏のせめぎあいを議論することを目指し、規範的親族関係の表出される場として華字紙に掲載された広告記事の分析から華人社会において理想とされる親族関係と現実の関係の明らかにすることを目的とする。

【活動の記録】

【研究会・ワークショップ】すべて研究代表者櫻田涼子による発表

2011 年 5 月 25 日：山東大学哲学与社会发展学院人類学系列講座において“Anthology of Place-making: Everyday Lives of Chinese Malaysian in Modern Housing Estates”を報告（中国・山東大学）

2011 年 6 月 12 日：日本文化人類学会第 45 回研究大会において「空間がつくる社会関係：マレーシアと中国の「婚房」と女性の身体を事例として」を報告（法政大学）

2011 年 9 月 16 日：*Sociology and Anthropology Workshop of Nanjing University and Kyoto University* において“Modernity and Anthropology”を報告（中国・南京大学）

2011 年 11 月 25 日：*The 3rd Next-Generation Global Workshop* において“Social Significance of Funeral Announcements and Rethinking Kinship of Chinese Malaysians”を報告（韓国・ソウル国立大学）

2012 年 2 月 5 日：仙人の会において「子どもの養育実践から描くマレーシア華人家族のかたち」を報告（法政大学）

2012 年 3 月 18 日：*Association for Asian Studies Annual Conference* において “Working in the City and Rearing Children in the Hometown: Women-Centered Relationships and the Family in the Rural Chinese Malaysian Community”を報告（カナダ・シェラトンホテル）

【調査】

2012年1月4日～9日：マレーシア国立図書館において《星洲日報》のマイクロフィルムの閲覧・収集
2012年20日～31日：ジョホール州で現地調査、国立図書館・マラヤ大学図書館で文献調査の実施
2012年2月20日～27日：マレーシア国立図書館・シンガポール国立図書館において資料調査

【成果の概要】（800字程度）

本研究は、マレーシア華人社会における人間関係、特に親族関係の変化をマレーシア華字紙《星洲日報》に掲載された広告記事の検討を通じて明らかにすることを目的とする。分析資料としたのは、個人が料金を支払い新聞紙上への掲載を依頼した広告記事である。伝統的に、マレー半島で発行される華字紙にはこのような広告記事が数多く掲載されてきた。それは例えば、葬儀案内を兼ねた死亡広告記事（「訃告」）や、死者が生前に所属していた社会組織により掲載される追悼記事（「挽詞」）、遺族による葬列参加に対する謝意を表明する記事（「泣謝」）、結婚報告記事（「結婚通知」）、親子関係や兄弟関係などの終焉を公にする記事（「脱離関係」）、新事業・新店舗の開業を祝う記事（「開店祝賀記事」）、州王スルタンなどによる称号賦与や学位取得、昇進などを祝う記事（「荣誉称号祝賀記事」）など実に多岐に渡る。研究を行うにあたり、マレーシア国立図書館・シンガポール国立図書館に所蔵されている華字紙《星洲日報》の1929, 1935, 1941, 1950, 1960, 1968, 1970, 1980, 1990, 2002, 2012年の各1ヶ月分のマイクロフィルム、及び調査地のインフォーマント家庭に保管されていた広告記事を調査した。

これまで、現代のマレーシア華字紙に掲載される広告記事の約9割が死に関する記事であったため当該社会における主たる関心事は死であるとしていたが（櫻田 2010）、1929～70年代の広告記事を分析したところ、死に関する記事よりも婚姻報告、結婚通知記事の掲載が多かったことが明らかとなった。従って、死に関する記事の増加は極めて今日的な事象である可能性が高いといえる。また訃告の記載内容についても時代による大きな差異が認められた。現代では多くの訃告に故人の家族関係が父系系譜に限らず幅広く記載されるが、かつては家族関係を今日のように詳細に記述していたものは少なかった。一方で、かつての記事は故人が生前に所属した社会組織が掲載する葬式通知が多く、当時は家族関係よりも社会組織による繋がりがより重視されていた可能性が指摘できる。

【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	490 (千円)	実績額 490 (千円)



写真 1 : マレーシア国立図書館
(2012 年 1 月 8 日撮影)



写真 2 : シンガポール国立図書館
(2012 年 2 月 24 日撮影)



写真 3 : 旧正月儀礼の様子
(2012 年 1 月 23 日撮影)